

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2023年度)

専門分野区分	データベース	科目名	SQL II				科目コード	T1320B4		
配当期	後期	授業実施形態	通常				単位数	2 単位		
担当教員名	酒井 尚子	履修グループ	2D(JT/KW)				授業方法	演習		
実務経験の内容	自治体向けシステムのプログラマからIT業界に入り、一般企業向けシステム、証券向けシステム、教育向けシステムに携わってきました。経験としてはプログラマーを経てSE、PLを経験。開発言語はCOBOL、RPG、SQL、.net、NET.COBOLなど経験年数は業務に携わった期間によって違いがありますが経験があります。SE、PLの経験が長く、要件定義から運用業務まで幅広く経験しています。SQLは自治体向けシステムでの開発で利用し、Accessを利用し帳票作成なども行っていました。その経験を踏まえSQL文の動きを実感してもらえよう授業を進めていきたいと思ひます。									
学習一般目標	IT市場においてはシステム構築、運用、管理において管理性、拡張性、コスト効率がより求められ、その需要に対応するのが「Oracle Database 12c」です。3つの特徴である、リソースの有効活用、自動管理機能による管理・運用の効率化、柔軟性と拡張性を備えた総合管理ツールである同製品の技術者を育成します。									
授業の概要および学習上の助言	複数の表の結合や副問い合わせ、データ操作、オブジェクトの作成および管理について学びます。各章ごとにある実習問題を通してSQL文を習得してください。									
教科書および参考書	SQL第2版 ゼロから始めるデータベース操作									
履修に必要な予備知識や技能										
使用機器	パソコン機器									
使用ソフト	Oracle									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1	データベースの基本的な概念を理解し、説明できる								
	1/2	SQL文を使用したデータベースの操作ができる								
	3	なし								
	4	なし								
	1/5	講義と実習に意欲をもって取り込むことができる								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解	30			30				60
		2.思考・判断	30							30
		3.態度								
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							10	10
	総合評価割合				30			10		
評価の要点										
評価方法	評価の実施方法と注意点									

試験	定期試験期間中にペーパー試験を実施します。(持ち込み有り) SQLの穴埋め、SQL文の実行結果などを問う 60点
小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	各章ごとに実習を出題します。 30点(オプション問題はプラス α 加点をします)
作品	
ポートフォリオ	
その他	出席回数、態度など総合的に判断します。 10点

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	7章 集合演算(等価結合、非等価結合)	講義・実習	実習1
第2回	7章 集合演算(自己結合、3表の結合)	講義・実習	実習1
第3回	7章 集合演算(外部結合)	講義・実習	実習1
第4回	5章 複雑な問い合わせ(単一行副問合せ)	講義・実習	実習1
第5回	5章 複雑な問い合わせ(グループ関数の使用)	講義・実習	実習2
第6回	5章 複雑な問い合わせ (HAVING句での副問合せ)	講義・実習	実習2
第7回	5章 複雑な問い合わせ(複数行副問合せ)	講義・実習	実習2
第8回	4章 データの更新(DML文)	講義・実習	実習4
第9回	4章 データの操作(トランザクション)	講義・実習	実習4
第10回	1章 データベースとSQL(表の作成)	講義・実習	実習5
第11回	1章 データベースとSQL(制約の設定)	講義・実習	実習5
第12回	11章 DDL文を使用した表の作成と管理 表の作成、デフォルト、表の削除	講義・実習	実習5
第13回		講義・実習	実習5
第14回	課題解決型授業 I 実習3	遠隔授業 実施時期:5期	授業内容を復習

